

事業報告書 概要版（平成24年度）

項 目	内 容
指 定 管 理 者 名	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
団 体 の 概 要 (H25.3.31現在)	<ul style="list-style-type: none"> ■所在地 新潟市中央区八千代1丁目3番1号 ■代表者 会長 関 昭一 ■職員数 役員 1人 正職員 226人 非常勤・臨時・パート職員 1,980人 ■設立年月日 昭和31年3月29日 ■主な業務内容 <ul style="list-style-type: none"> ○地域・在宅福祉活動の推進（友愛訪問事業など） ○ボランティア活動の振興（ボランティア団体への支援など） ○福祉教育の推進（総合学習等への支援など） ○情報・相談及び広報活動の推進（心配ごと相談所など） ○資金の貸付（生活福祉資金など） ○介護保険事業（訪問介護サービス事業など） ○障がい者自立支援事業（障がい者居宅介護サービス事業など） ○福祉のまちづくり事業（にいがた愛いっぱいキャンペーンなど） ○各種福祉事業（福祉施設の管理運営など）
基 本 理 念	放課後の時間帯において保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「生活」の場を提供し、「遊び」及び「生活」を通して子どもの健全育成を図ること。
クラブ数及び児童数 (H25.3.31現在)	<ul style="list-style-type: none"> ■クラブ数 80クラブ ■児童数 4,947人
職 員 配 置	<ul style="list-style-type: none"> ■正規指導員 嘱託職員 各クラブ2名 ■臨時指導員 加配指導員、フリー指導員、土曜登録指導員、日々代替指導員 土曜短時間登録指導員、短時間登録指導員
運 営	<ul style="list-style-type: none"> ■児童の健全育成 子ども一人ひとりの生活状況を把握しながら、子どもの情緒や子ども同士の関係にも配慮し、子どもが安心して過ごせる環境づくりに努めました。指導員や友達との安定した関係の中で、意欲的に遊びを楽しみ、遊びの中で決まりのある生活の大切さが身につくよう配慮して援助を行いました。 ■地域との関わり 小学校・ふれあいスクール・民生児童委員等の様々な地域の関係機関と連携をとりながら、活動内容に理解と協力を得られるよう取り組みました。 ■障がい児の受け入れ 子どもと保護者の立場に立ちながら、可能な限り受け入れを行い、小学校や専門機関等と連携を取りながら障がい児への支援を行いました。 ■人材の確保と育成 サービスの質・利用者の満足度を高めるため、子どもの安全管理や生活および遊びの指導等の研修を行いました。 ■要望・苦情への対応 要望や苦情及び保護者会等の要望については、積極的に意見を聞き、取り入れるべき内容については事業に具体的に反映させてきました。 ■危機管理体制 子どもの事故等を防止するため、いつでも起こり得るという危機意識を常に持ち、事故発生の原因を究明し再発防止に努めました。